

教養研究センター・未来先導基金公募プログラム

第三回庄内セミナー

一 庄内に学ぶ生命・いま敢えて生と死を考える一

代表者 羽田 功(経済学部)

趣 旨

教養研究センター主催の庄内セミナーは今回二年ぶりの実施となりました。山形県鶴岡市にある慶應義塾鶴岡タウンキャンパス(TTCK)を拠点とするこのセミナーの目的は「教養力」すなわち「自立・自律力」と「社交力」の涵養を通じた「教養」の基礎体力作りにあります。今回は、2012年度慶應義塾未来先導基金公募プログラムとして、過去の実績を踏まえ、以下のような趣旨で「第三回庄内セミナー」を開催しました。

鶴岡市、TTCKを拠点として**新たな「学びの場」**を創出する。

鳥海山・出羽三山、庄内平野、日本海に囲まれ、歴史・文化・自然・人の織りなす多彩な「生命」に恵まれた**庄内をフィールド**として多角的に「生命」について**体験・体感**する。

忙しい日常から離れて、じっくりと「生命」について考え、地元との交流なども図りつつ、**対話と議論**を通してコミュニケーション力を高め合う。

セミナー・プログラム

< 事前準備 >

7月31日	参加者に対する事前説明会	日吉
8月25日	事前課題(「自分」について600字程度のレポート)提出日	

< 合宿セミナー >

8月31日	[セッション1] アイスブレイク・マインドマップ(1)作成・グループ討議	TTCK
	[セッション2] グループ討議(事前課題について)	いこいの村庄内
	[セッション3] 羽黒修験・秋の峰入「八朔祭」見学	羽黒山
9月1日	[セッション4] 即見仏拝観	注連寺・大日坊
	[セッション5] 鶴岡を知る(自由行動)	松が岡開墾場・鶴岡市内
	[セッション6] 「生と死を考える」 講演・議論と対話 講師:加藤元一郎氏(慶應大学医学部精神神経科)	いこいの村庄内
9月2日	[セッション7] 山伏修行体験 先達:太田一氏・早坂一広氏(山伏修行体験塾)	いでは文化記念会館・羽黒山
	[セッション8] 「庄内文化論 - 歴史と現在」 講演・議論と対話 講師:酒井忠久氏(致道博物館館長) 講師:東山昭子氏(鶴岡総合研究所研究顧問)	いこいの村庄内
9月3日	[セッション9] 慶應義塾大学先端生命科学研究ラボ見学	先端生命研ラボ
	[セッション10] まとめ:マインドマップ(2)作成とグループ討議	

< ま と め >

9月30日	事後課題(「生命」について2000字程度のレポート)提出日
10月末	報告書(レポート集)発行[予定]

< 関連企画 >

11月5日	「慶應義塾と庄内」(セミナー写真展など)	日吉図書館
~ 17日	庄内フェア(庄内関連書籍・物産・庄内ランチ販売)	大学生協(日吉)

教養研究センター主催・庄内セミナー展示企画 未来先導基金公募プログラム

慶應義塾と庄内

庄内セミナー開催にあたっては、多くの地元の方々にご協力いただきました。
ところで、あまり知られていないかもしれませんが、慶應義塾は思いのほか庄内という土地と強い結びつきを持っています。とりわけ初期の慶應義塾図書館には少なからぬ庄内出身者がいました。

たとえば図書館の初代監督(館長)で、慶應義塾初の社会学教授でもあった**田中一貞**(1872-1921)です。田中は体育会野球部の部長、ワグネル・ソサィエティ会長、日本図書館協会会長、三田社会学会の初代会長なども務めました。

田中の原点にあるのはおそらく福澤自らの薫陶を受けた教育者としての理想と実践だったのではないのでしょうか。教育者としての田中一貞を一言で言い表せば「ハートの教育者」となるでしょう。1901(明治34)年3月、『**慶應義塾学報**』第37号(14-17頁)に掲載された田中の教育論「**ハートの教育**」にはハートをもってする教育者・田中一貞の面目が躍如しています。また、そこからは恩師である**福澤諭吉**(1835-1901)の影響をはっきりと読み取ることもできます。

この小論において、田中は**ハート(Heart)**と**マインド(Mind)**、その異名である**ヘッド(Head)**を対比させつつ、教育における**ハートの重要性**を強調しています。ちなみに田中の言うハートとは「元気、愛情、熱誠、哀情を代表する語にして人間運動の原動力」(16頁)を意味し、これに対して**マインド(Mind)**、**ヘッド(Head)**は理解力、判断、記憶など「智的方面を代表するもの」(15頁)を表しています。

田中は「之を船にたとえれば、ハートは蒸気力にして、ヘッドは舵乃至羅針盤なり」とも書いていますが、併せて注目したいのは次のような福澤観です。すなわち「...余を以て之を見るに先生の偉大なる所以の十分の九までは、其のヘッドの卓越したるに在らずして寧ろ其赤誠熱愛のハートに在りと云うも躊躇せざるなり」(18頁)。

さて、皆さんはどう思われるでしょうか？



田中一貞

初期には「庄内閥」があったとも言われている図書館ですが、田中以外にも、鶴岡での代用教員、銀行給仕などを経て図書館員に転じ、同時に郷土史家として庄内関連資料の収集や郷土史研究を精力的に行った**国分剛二**(1892-1958)がいました。

あるいは歴史学、考古学、民俗学、人類学に造詣が深く、地元庄内で小学校教員を務めながらこれらの分野の調査・研究を進めた**羽柴雄輔**(1851-1921)です。明治22年に**奥羽人類学会**を創設した羽柴は、明治39年11月からは東京帝国大学史料編纂掛となりましたが、晩年は慶應義塾図書館に勤務、多くの蔵書を図書館に残しています。

慶應義塾と庄内

図書館関係以外で庄内・鶴岡と縁の深かった人物の一人が名塾長の誉れ高い小泉信三(1858-1966)でした。というのも小泉の妻・とみ(1895-1991)が鶴岡の出身だったのです。元鶴岡市長の富塚陽一氏によれば、「生前、小泉さんは夏休みなどによく市内を散歩しておられた」そうです。

とみの両親を辿っていくと、さらに福澤や慶應義塾とのつながりが見えてきます。まず、とみの母・阿部優子(1862-1938)ですが、優子の父で戊辰戦争の猛将と呼ばれた庄内藩士・俣野影明(1838-1883)は1876(明治9)年に上京し、福澤諭吉門下に入りました。その後、影明は官吏として活躍します。影明の次男・景次は慶應義塾の出身で、後に庄内で教職についています。

さて、優子自身は父と共に上京し、1877(明治10)年、16歳のときに慶應義塾の塾頭を務めた阿部泰蔵(1849-1924)の後妻となります。先妻の子供一人に自分の生んだ七男四女の養育に力を注ぎました。ちなみにとみは三女でした。夫の泰蔵は、その後明治生命、明治火災を創設するなど実業界で活躍した人物です。また、泰蔵の四男として生まれたのが作家・評論家・劇作家として活躍した水上瀧太郎(1887-1940)です。慶應理財科の出身で、後には明治生命や大阪毎日新聞の取締役役に就任、慶應義塾の評議員も務めました。代表作には『大阪』『大阪の宿』などがあります。

以上は古い時代のほんの一例に過ぎませんが、それでもある人物から次々と福澤や慶應義塾に関係する人々の新しい名前が挙がってきます。さすが慶應義塾と言うべきでしょうか。



阿部泰蔵



小泉信三

< 主要参考文献・資料 >

- ・『慶應義塾学報』第37号[1900(明治37)年3月]
- ・『三田学会雑誌』第36巻1号[1942(昭和17)年]
- ・『縮刷版 三田新聞』[不二出版、1987(昭和62)年5月8日(復刻版)]
- ・『慶應義塾図書館史』[慶應義塾大学三田情報センター、1972(昭和47)年4月]
- ・『東京日日新聞 期8巻』[日本図書センター、1993(平成5)年(復刻版)]
- ・『山形名家録』[山形名家録編集局、1920(大正9)年2月]
- ・富田利信「小泉信三と鶴岡」[『庄内日報』1997(平成9)年5月5日]
- ・長嶋保「俣野時中伝」[1987(昭和62)年12月(非売品)]
- ・戸岐田正勝「奥羽人類学会創設者 羽柴雄輔」[『庄内日報』1988(昭和63)年11月13日]
- ・川合隆男「慶應義塾大学初代社会学教授 田中一貞」[『近代日本研究7』慶應義塾福澤研究センター、1990(平成2)年]
- ・川合隆男・竹村英樹(編)『近代日本社会学者小伝 書誌的考察』[勁草書房、1998(平成10)年12月]
- ・慶應義塾写真データベース
- ・Bibliographical Database of Keio Economics

「第三回 庄内セミナー」開催風景



参加者集合 (初日・TTCK)



グループワーク〔マインドマップ作成〕(初日・TTCK)



八朔祭見学〔羽黒修験 秋の峰入の柴燈護摩〕(初日・羽黒山)



即身仏拝観 (二日目・注連寺)



即身仏拝観 (二日目・大日坊)



セッション〔生と死を考える〕
(二日目 いこいの村庄内)

「第三回 庄内セミナー」開催風景



講師・加藤元一郎氏（医学部精神神経科）



修行体験〔滝行〕(三日目・立谷沢川)



山伏修行〔火渡り(出生式)〕
(三日目・いでは文化記念館)



修行体験〔斗走〕(三日目・羽黒山)



山伏体験塾塾長・太田一氏（羽黒山伏）



セッション「庄内文化論」
(三日目・いこいの村庄内)

教養研究センター主催

2012年8月31日～9月3日

「第三回 庄内セミナー」開催風景



講師・酒井忠久氏（致道博物館館長）



講師・東山昭子氏
（鶴岡市総合研究所研究顧問）



先端生命研ラボ見学（最終日・TTCKラボ）



先端生命科学研究所（最終日・TTCKラボ）



打上げ昼食会〔左・山本益生鶴岡市
副市長〕（最終日・TTCK「百軒濠」）



お疲れさまでした！（最終日・TTCK）